

# 平成23年度 事業計画

## (公益目的事業)

### I 会員の生活を豊かにする活動

#### 【公1】 第36次岡山県老人福祉大学

- ・会場 : 岡山、倉敷、津山、高梁
- ・期間 : 6月～11月
- ・受講生 : 約900名(会員と一般高齢者)
- ・テーマ : (予定)
  - ・健康づくり講座
  - ・郷土の歴史と文化
  - ・岡山県の行政の推進「新おかやま夢づくりプラン」について
  - ・老後の雑学
  - ・落語

#### 【公2】健康づくり支援事業

##### (1) 県老連健康づくり推進委員会の開催

老連の行う健康づくり活動の支援・啓発について専門家を交え研究・協議し方向性を示す。

- ・健康づくり推進委員会 委員17名 年1回開催

##### (2) 健康づくり・介護予防まちづくり事業

県老連としてもこれまで健康づくり支援事業については、重点的に取り組んできたところであるが、平成23年度においても、これまでの成果を踏まえ、単位クラブでの健康づくり・介護予防活動を一層進めるとともに、地域の高齢者、地域住民へも活動の輪を広げ、地域の高齢者が健康で自立した生活を送り、安心して暮らせるまちづくりを目指し、健康づくり・介護予防まちづくり事業を実施する。

###### ① 県老連

- ・事業報告会の開催 年1回

- ・健康づくり・介護予防リーダー養成講習会  
養成 100人（モデル事業実施老連、その他老連）

講座 健康づくり・介護予防に必要な専門的な知識、  
技術（体力測定も含む）等の研修

認定 講座修了者へ県老連会長から「修了証」交付

- ・全老連 健康づくり中央セミナーへの派遣 1名（再掲）
- ・助成 1老連 5万円（継続5 新規5）

## ② 市町村老連

- ・健康づくり・介護予防まちづくり事業

モデル老連を指定して行うが、活動の中心は単位クラブであり、老連は単位クラブでの活動が円滑に行われるための研修、リーダー養成、体力測定など各種イベント開催の指導。

実施主体 モデル市町村（地域、地区）老連

実施箇所 《継続》5老連まで  
《新規》5老連

## ③ 単位クラブ

・健康づくり・介護予防に関する「学習」「実践」「点検」活動を、市町村老連と連携しながら、年間を通じて継続的に実施。

・活動にあたっては、クラブ会員のほか地域の高齢者、住民の積極的な参加を呼びかける。

- ・介護予防の輪を広げる

(活動例)

学 習

- ・高齢者の健康管理、高齢者に多い病気とその予防（歯、認知症、薬）

実 践

- ・栄養（高齢者の食生活、料理教室）
- ・運動（グラウンドゴルフ、ラジオ体操、いきいきクラブ体操、ウォーキング）
- ・休養（趣味、レクリエーション）

点 検

- ・健康診断
- ・体力測定

※ 体力測定用具一式 貸出し

### (3) 老人福祉大学での健康講座（再掲）

- ・開催場所 4会場（岡山、倉敷、高梁、津山）受講生 約900人

### (4) 健康ウォーキング推進事業

「健康ウォーキング」の日常的な実施を通じて、運動による健康づくりを推進する。

老人クラブ未加入者も対象とし、地域へ健康づくりの輪を広げるなど、老人クラブに対する理解と加入促進を図る。

(県老連)

- ・健康ウォーキング講習会 年1回開催
- ・用具、教材の提供
- ・事業報告会 年1回開催

(市町村老連)

- ・実施老連（市町村老連、地区・地域老連、校区老連、単位クラブなど）
- ・5地区 1地区 50名
- ・週1回（月2～3回）程度のウォーキング実施

(歴史散策ウォーキング、三世代ウォーキング、子供見守りウォーキング他)

- ・健康ウォーキング学習会の開催

### (5) 資材・教材等普及事業

老人クラブの実施する事業の適正化のため老人クラブ手帳、活動日誌、老人クラブ会計簿の普及に努める。

## II 地域を豊かにする社会活動

### 【公3】 地域福祉支援活動推進事業

#### (1) 次世代育成支援事業

(県老連)

- ・子育て支援リーダー養成講習会（女性委員会幹事会と同日） 年1回開催
- ・事業報告会 年1回（報告書作成）

(市町村老連)

- ・実施箇所 市町村（地域、地区）老連及び地域高齢者組織等 6か所
- ・補助対象事業例 見守り活動、安全パトロール、世代間交流、子育て相談など
- ・補助額 @5万円以内・単年補助

## (2) 在宅福祉を支える友愛活動

○在宅福祉を支える友愛活動セミナー派遣 参加者1名（東京都）

○友愛活動

- ・実施箇所 市町村（地域、地区）老連及び地域高齢者組織等 4か所
- ・補助対象事業例 虚弱、ひとり暮らし、認知症の仲間を支える友愛活動、友愛介護訪問、給食サービス、孤独死・高齢者虐待の防止、地域高齢者の声かけ運動など
- ・補助額 @5万円以内・単年補助
- ・事業報告会 年1回（報告書作成）

## (3) 高齢者の安全・安心を支える活動

高齢者の暮らし安全、安心を守るため交通安全活動、悪徳商法対策等防犯安全対策を推進する。

### ・ 高齢者の交通安全対策

県下の交通事故発生件数、死者共に減少するなかで、高齢者が関係する交通事故、事故死は増加傾向にある。高齢者が交通事故にあわないようにするため、交通安全講習会等機会あるごとに安全意識の徹底をはかる。

### ・ 悪質商法等防犯安全対策

悪質商法など高齢者の消費者トラブル防止のための啓発活動

## (4) 全国一斉「社会奉仕の日」～きれいな地球を子どもたちへ～の推進

- ・全老連の活動にあわせ、環境にやさしい活動を柱とした9月20日全国一斉「社会奉仕の日」の取り組みと通年活動の推進。
- ・花のあるまち ゴミのないまち運動、花いっぱい運動など

## Ⅲ 組織・運営体制の確立

### 1 老人クラブ指導者の育成

地域を基礎とする高齢者の自主的組織である老人クラブにおいて、会員本位の自主的かつ民主的な運営が行われ、魅力あるクラブ活動となるよう、老人クラブ指導者等の育成研修を行う。

## 【公4】 研修会事業

## (1) 高齢者地域リーダー研修会

- ・テーマ 魅力あるクラブ運営・クラブ活動への取り組みとリーダーの役割など
  - ・会場 4会場（岡山、倉敷、津山、高梁）760人
  - ・受講対象 原則、単位クラブの会長、副会長と単位クラブの指導者として期待される者  
市町村老連事務担当者、関係機関、高齢者団体のリーダー
- 第29回 都道府県・指定都市老連中央セミナー  
(5月31日(火) 6月1日(水) 東京・全社協灘尾ホール)  
参加者 1名程度
  - 第40回 全国老人クラブ大会  
11月1日(火)～2日(水) 石川県
  - 中国ブロック県老連連絡協議会(当番県)  
4月27日(水)～28日(木) 岡山市

## (2) 高齢者女性リーダー研修会

- ・テーマ 会員の7割を占める女性会員が「心と体の健康づくり」をはじめ加入促進について、どのように女性ならではの活動を行えば、老人クラブ活動全般が活性化するかなどにつき討議・研修を行う。
  - ・会場 3会場（岡山、倉敷、津山）
  - ・受講対象 市町村老連における女性リーダー200人
- 第23回全老連女性リーダーセミナー  
(11月24日(木)～25日(金) 東京・全社協会議室)  
参加者女性委員長他1名
  - 全老連女性委員会総会（東京都で年2回併催）

(参 考)

全老連 女性委員会の推進項目

- ・女性委員会の設置（女性の組織化）
- ・老連役員への参画を推進する
- ・大会や研修会等の会合に、女性の参加を拡大する
- ・「仲間づくりの輪」を広げ会員の拡大に取り組む
- ・生活モニター活動を通じて提言・提案活動を推進する

## 【公5】 第48回岡山県老人クラブ大会

- ・10月20日(木) 岡山市民会館

- ・参加者1,400名
  - 第1部 式典
  - 第2部 講演
- ・岡山県知事表彰、保健福祉部長表彰
- ・県老連会長表彰（老人クラブ運営功労者、運営協力者、優良老人クラブ）
- ・山陽新聞社会事業団理事長感謝状

## （その他事業）

### 【他1】 老人クラブ活動推進事業

#### （1）組織強化推進事業

本県の老人クラブ会員数は、近年急激な減少傾向にある。このため平成19年度から県老連、市町村老連等において「会員加入促進委員会」を立ち上げるなど推進体制を強化し、単位クラブ、会員を中心として会員加入促進のための全県的な運動を展開している。

5年目となる今年度は、市町村老連はもとより地区・支部老連においても「会員加入促進委員会」を立ち上げ、あらゆる機会をとらえてPR活動を行うなどこの運動の一層の進展を図る。

また会員加入促進とあわせて老人クラブ活動の充実・強化を図るため若手高齢者の組織化に努め、魅力あるクラブづくりなど“楽しい活動で仲間を増やす”運動へと発展させる。

#### 1) 会員加入促進事業

##### ○ 県老連

##### 会員加入促進委員会の開催

委員 13名 年1回開催予定

- ・運動の成果分析及び運動方針の検討
- ・平成23年度スローガン

“楽しい活動で仲間を増やそう” 運動への取組み

- ・会員加入促進モデル単位クラブ表彰と奨励金の交付
- ・優良事例の紹介（研修会等で事例紹介）

##### ○ 市町村老連等における会員加入促進体制の確立

- ・「会員加入促進委員会」未設置の市町村老連（地域・地区）での委員会立ち上げ促進

- ・地域性に応じた会員加入運動の展開

（例）市町村老連の「会員加入促進委員会」での検討事項

- ・実施期間、目標の設定  
未加入会員の掘り起こし、団塊世代の取り込み  
(グラウンドゴルフ、ウォーキングなどクラブ行事への参加呼びかけ)
- ・休眠クラブ、解散クラブの対策など

- ・魅力あるクラブ活動の取り組み

新しい会員を増やすためには、会員加入の働きかけと同時に、今の会員が満足できるクラブづくり、魅力あるクラブづくりが必要である。

地域特性とクラブの実態に応じた、男女が共同参画できる会員にやさしいクラブづくり、開かれたクラブへの取り組みが求められる。

- ・女性、若手リーダーの養成と組織化、役員登用
- ・会員にやさしいクラブ、開かれたクラブへの取り組み検討
- ・老人クラブの愛称検討など

(参 考) 全老連 老人クラブ加入促進マニュアル「仲間さがし9つの秘訣」より

◎ 加入したくなるクラブのあり方

ア) 組織活性化の課題

- ・若手高齢者の組織化
- ・クラブの若返り
- ・名前だけの会員の参加促進
- ・マンネリ打破 (新しい活動の開拓)
- ・町内会など他団体との連携、交流 など

イ) 会員にやさしいクラブ

- ・出席できない会員への配慮
- ・会員の希望の把握、実行
- ・新入会員を暖かく迎える

ウ) 開かれたクラブ

町内会など地域のいろいろな組織・団体との連携を図り、必要に応じクラブ活動に参加・協力を求めるなど

- ・男女が共同参画する組織・活動づくりの推進

- ・高年・若手・女性のバランスのとれた役員構成の推進 (老人クラブ「21世紀プラン」目標13)
- ・若手高齢者、女性会員の活力が発揮できる場づくり (若手委員会の立ち上げ)

- ・女性会員によるクラブ活性化 (再掲)

- ・女性委員会を中心とした女性組織の活性化への取り組み
- ・女性委員会の自主的運営による女性リーダー研修会の充実

会 場 : 岡山、倉敷、津山

開催時期 : 12月

- ・市町村老連、単位クラブでの女性役員の登用促進

## ・いきいき生活応援優待利用証「楽・楽カード」の発行・活用

会員に制度内容、趣旨を徹底しカードの利用を促進するとともに加入促進へつなげる。

## (2) 各種会議・大会等開催・派遣等事業

### 1) 表彰

#### ○ 岡山県老人クラブ大会 (再掲)

知事表彰、保健福祉部長表彰、県老連会長表彰、山陽新聞社会事業団感謝状

#### ○ 全国老人クラブ大会

11月1日(火)～2日(水) 石川県

- ・全老連会長表彰  
老人クラブ育成功労表彰  
優良老人クラブ表彰

活動賞 (全老連会長表彰)

- 「仲間づくり活動部門」 加入促進の優良取り組み (老連、単位クラブ)
- 「健康づくり活動部門」 会員、地域の高齢者への健康づくり・介護予防活動の優良取り組み (老連、単位クラブ)

「ボランティア活動部門」

\* 推薦枠 各部門ごと1県あたり3団体

### 2) 広報活動

- ・機関紙「おかやま県老連だより『山紫水明』」の発行  
年2回 50,000部/回
- ・県老連ホームページの充実等情報公開
- ・高齢者地域リーダー研修、老人福祉大学、老人クラブ大会などあらゆる機会を利用して広報活動 (優良事例の紹介) をおこなう

### 3) 調査研究

#### 4) 全老連関係諸会議

- ・全老連評議員会
- ・都道府県指定都市老連会長会議
- ・ // 事務局長会議

#### 5) 市町村老連正・副会長会議

県下市町村老連の正副会長が一堂に会し、今日にふさわしい適切な活動と運営



をいかに行うか等当面の課題につき研修、討議し、情報交換を行う。

- ・期 日 24年1月 (1泊2日)
- ・場 所 岡山市北区菅野「レスパール藤ヶ鳴」

#### 6) 中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

- ・7月7日(木)～8日(金)(山口市)
- ・参加人員 約20人
- ・内 容 基調報告 分科会(4分科会) 活動事例発表

#### 7) 市町村老連事務担当者会議

#### 8) 正・副会長会議

#### 9) 各種負担金

#### 10) シルバー基金運営委員会

- ・基金の有効活用についての研究
- ・基金の適正管理
- ・シルバー基金果実の活用  
地域福祉活動に活用する。

#### 11) 県老連女性委員会(再掲)

- ・総 会 年2回
- ・幹事会 年1回

## (法人運営・管理)

### 【法1】 法人運営・管理

#### (1) 理事会・評議員会

#### (2) 監査会(含シルバー基金監査)

#### (3) 新公益財団法人移行

公益法人制度については、国において全面的な法制度の改正が行われ、関係法令が平成20年12月1日から施行された。県老連は、今年度中に公益認定申請を行う。

(検討課題)

- ・定款の変更
- ・新会計基準に適合する会計の諸整備
- ・情報公開等事業の透明性の確保
- ・事務事業の見直しと自主財源の確保等財務基盤の強化

- ・ 新・新会計基準の運用等

#### **(4) 創立50周年記念事業実行委員会**

#### **(5) 租税公課**

### **【法2】 各種運営委員会の開催**

### **【法3】 その他**

#### **(1) 行政等関係機関、市町村老連、その他団体との連携**

老人クラブ活動を円滑に推進するうえで、市町村行政、地域包括支援センターや社協、医師会、自治会連合会など関係機関団体との連携は重要である。

これら関係機関等とは、日ごろから連携をとり、活動への積極的な支援を得ながらすすめる。

#### **(2) 各種大会への参加**

- ・ 平成23年度 岡山県総合社会福祉大会  
10月13日(木) 岡山市民会館

#### **(3) 情報公開への取組み**

監事に公認会計士を選任するなど、業務運営の透明化、適正化、積極的な情報公開に努める。

- ・ 県老連ホームページの充実